宮前チャレンジLab
チャレラボ
2026
- Part2 -



ミライトーク

参加者の皆さまへ：

・お手元のネームテープに名前をご記入いただき、胸元へ貼付ください。
（ニックネームでもOK！）

・テーブル上の「写真カード」に目を通しながら、開始までお待ちください。

宮前区役所・市民館・図書館等が移転した後の
“この場所のミライ” について、
想像したことがありますか？

移転はまだ先ですが…
皆さんといっしょに **“この場所のミライ”** について
みんなで考えてみたいと思います

今日のプログラム

1. 現宮前区役所等施設・用地の活用に関する検討状況の説明

①これまでの検討経緯

②今後の予定等

2. 宮前チャレンジLab 2026に関する報告

①昨年度からの取組経緯

②【チャレラボ -Part2-】当日の様子、アンケート結果等の報告

3. グループで語り合おう！

【Step 1】 この場所で大切にしたいこと、主な利用者を考えよう

【Step 2】 この場所に必要な機能・サービスを考えよう

【Step 3】 「この場所のミライ」の活用コンセプトとタイトルを考えよう

【Step 4】 「この場所のミライ」を可視化し、活用イメージを共有しよう

皆さん同士で意見交換していただく上での、主な視点

・「ミライを考える写真」から考える「この場所のミライ」に必要なこと

・「この場所のミライ」の利用者や過ごし方、必要な機能・サービス

・「この場所のミライ」の活用コンセプト　　などなど…

協力：明治大学建築学科有志による学生団体【ＭＵＡＣ】

【学生団体ＭＵＡＣ（ミュアック） とは】

明治大学：川崎市内に唯一建築学科のキャンパスが存在

→市制100周年をきっかけに、明治大学の学生と川崎市は連携を深めています

連携した活動の中で…

明治大学理工学部建築学科の学生有志でつくられた団体「ＭＵＡＣ」

協働で取組を進めています

Meiji University Architecture Crew







「ミライトーク」のルール

気楽に、楽しくお話しましょう

時間内に成果を取りまとめるために、グループの全員で協力しましょう

多数決ではありません 少ない意見も大切にしましょう

他の人のお話への割り込みや、否定はやめましょう

1. 現宮前区役所等施設・用地の活用に関する検討状況の説明

宮前区役所・市民館・図書館の位置等



国土地理院 地理院地図を加工して作成

鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針〔平成３１（２０１９）年３月〕

1. 再開発によって都市としての機能が向上する鷺沼駅周辺に、宮前区役所・市民館・図書館を移転・整備し、宮前区全体の活性化を促す「核」としての地域生活拠点の形成を図る。
2. 民間施設と行政施設の相乗効果による機能・空間の実現を図り、文化・交流拠点の形成と新たなコミュニティの創出を図る。
3. **現区役所等施設・用地は、宮前区全体と周辺エリアの将来を見据え、市民参加で検討する。**



オレンジ本

検討の基本的な考え

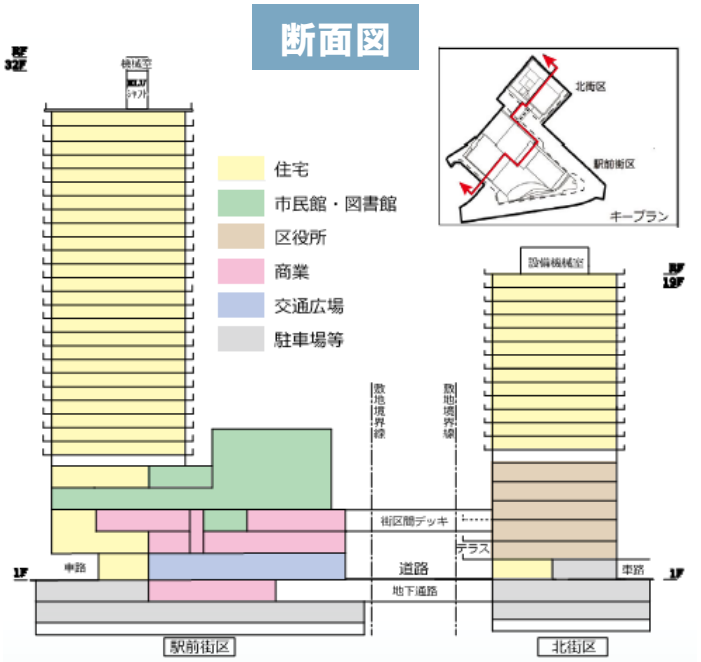
①市による施設・用地保有

②宮前区全体と周辺エリアの将来を見据えた課題やニーズの整理

③市民参加による検討

鷺沼駅前再開発事業

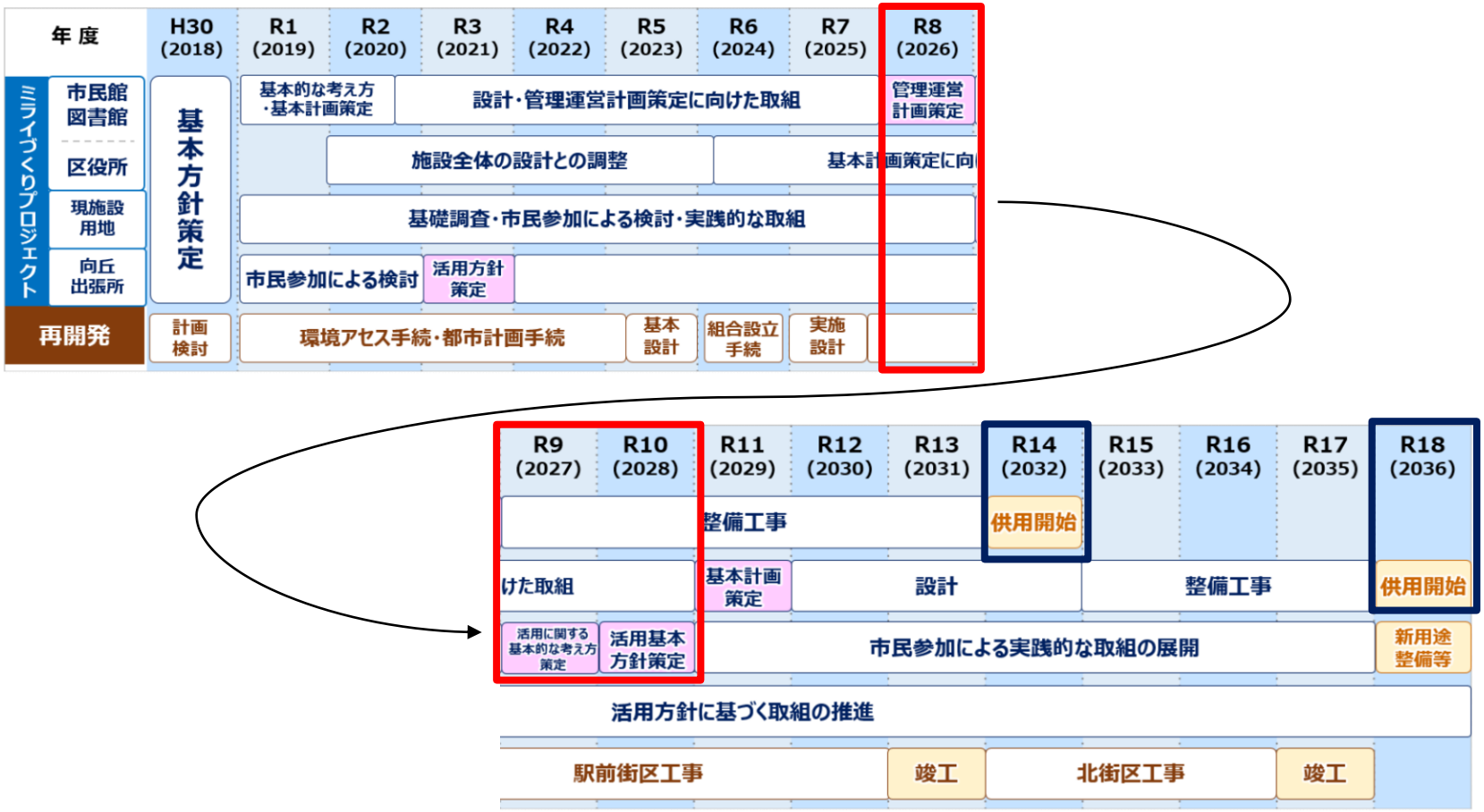






※図やパースは今後変更になる可能性があります。

現時点のスケジュール



取組の詳細は「宮前区のミライづくりプロジェクトニュース第７号（R8.2発行）」をご覧ください。

現宮前区役所等施設・用地の活用検討に関する中間報告〔令和６（2024）年11月〕

これまでの検討から、ポイントとなるキーワードを整理
（キーワードは立地特性等、社会状況の変化、市民意見の３つのカテゴリーで整理）

災害対策	運動・スポーツ 広場・自然
子ども・若者 子育て世代	チャレンジ
文化活動 風土の継承	実践・実験的

▲市民意見からのキーワード

これまでの検討結果

将来を想像する　アイデアを集める



活用コンセプトの候補



×

様々な具体的な市民アイデア









活用基本方針の策定

基本的な考え方の策定

新たな取組

試してみる　絞っていく

行政 ⇄ 市民

雨の日でものびのびと遊べる場所があるといいな

子どもからシニアまで、みんなが満足できる使い方とするには、どうしたらいいかな？



実践・意見交換を通じた検討の深掘り



ダンスの練習で集まれる場所が残ったらいいのに

民間事業者の見解

現施設・用地の立地条件や周辺環境などを踏まえた、事業性や実現可能性の把握

持続可能性の考慮

多様な主体が様々な形で運営に携わるような、持続可能な場所・取組の構築に向けた検討

このアイデアを実践したときに、本当に利用者が集まるのかな？

行政需要との調和

市民参加による検討で浮かび上がった活用イメージとの親和性も踏まえた行政機能導入の検討

現宮前区役所等施設・用地の活用検討に関する中間報告〔令和６（2024）年11月〕

検討のスケジュール（予定）

活用コンセプトや導入機能のイメージ、今後の取組などを取りまとめ

～令和5年度	令和6年度	令和7年度～	令和9年度	令和10年度	令和11年度～
■基礎調査 ■市民参加による検討	■活用検討に関する中間報告	■活用検討に関する新たな取組	■基本的な考え方の策定	■活用基本方針の策定	■活用基本方針に基づく取組の推進

各段階における市民参画による実践的な取組から本格実施へ

令和７(2025)年度からは新たな取組として、
これまでいただいた市民アイデアを活かした取組を現地で実際に試してみる
実践的な取組「宮前チャレンジLab」や、
意見交換「宮前チャレンジLab ミライトーク」を実施しています。

2. 宮前チャレンジLab 2026に関する報告

■なぜ「宮前チャレンジLab 2026」を企画したのか？

市民の皆さんとの意見交換の機会やワークショップでいただいたご意見・アイデア等

・「この場所」の活用コンセプト

・具体的な活用アイデア　　などなど…

実際にやってみる（実践的取組）
結果を踏まえて今後を皆で語り合う（意見交換）

繰り返し実施して、市民の皆さんに本当に求められている
「この場所のミライ」の検討を深める

■主なコンテンツ

令和８年１月

○ 「ぷよぷよテトリス２™」を使った eスポーツ体験会

○アーバンスポーツ体験会
・パルクール体験教室
・ストリートサッカー体験会　等

○マインクラフトで構築した「この場所のミライ」募集

令和８年８月

○ マインクラフト 教室形式による「この場所のミライ」構築

○ 屋内型子どもの遊び場
・エアー遊具
・芝生広場／木製積み木等

○ J-POP盆踊り

○ 屋外飲食スペース

宮前チャレンジLab 2026（令和８年１月開催）

■参加者数

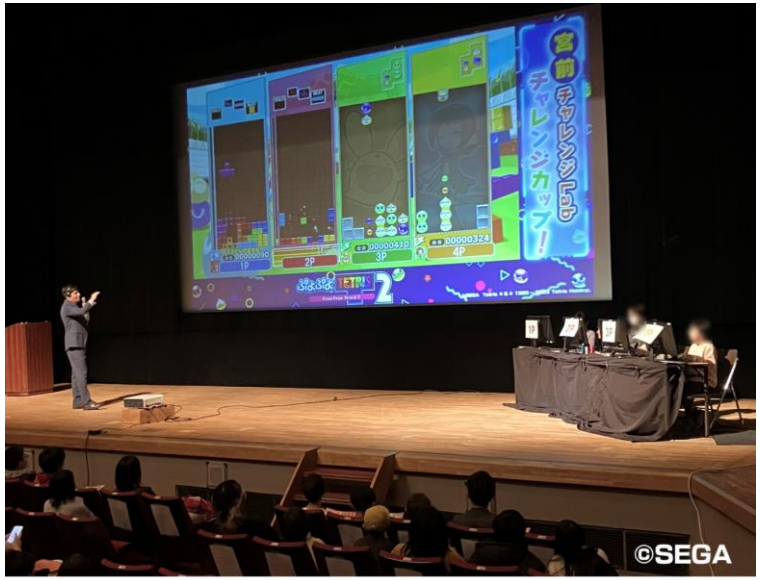
参加者数
（アンケート回収数から算定した数値）

1/16（金）	59名
1/17（土）	126名
1/18（日）	88名

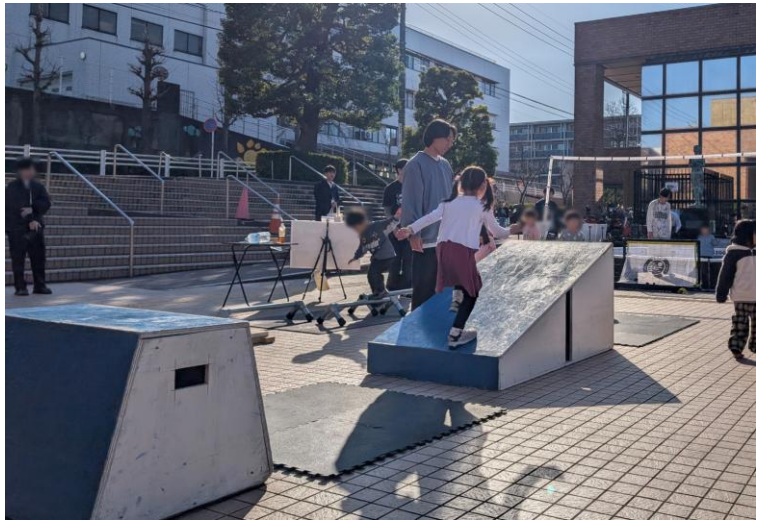
3日間合計
273名



■当日の様子









■参加者向けアンケート調査結果

参加者向けアンケート調査概要

■調査方法　来場者による、直接記入により実施
■回収数（n）　119件（日ごとの内訳は以下の通り）
・１月16日　28件
・１月17日　51件
・１月18日　40件

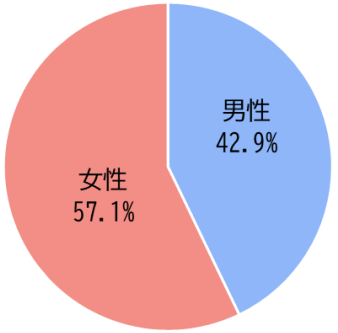
※回答者にはトートバック、色鉛筆等をプレゼント



回答者の性別

女性が約6割、男性が約4割となりました。

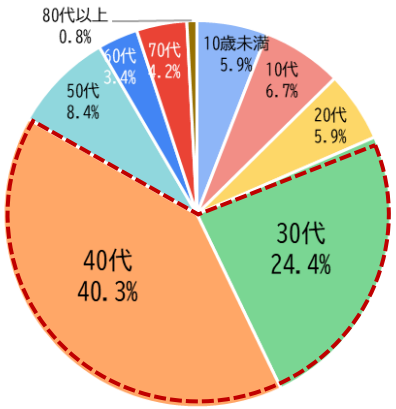
(n=119)



回答者の年代

「30代」「40代」が非常に多い結果となりました。

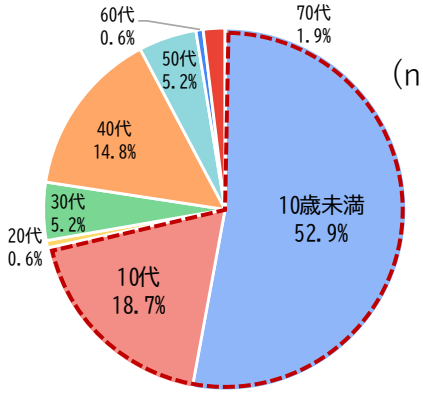
(n=119)



同行者の年齢

小さなお子さんと一緒にいらした方に多くご参加いただきました。

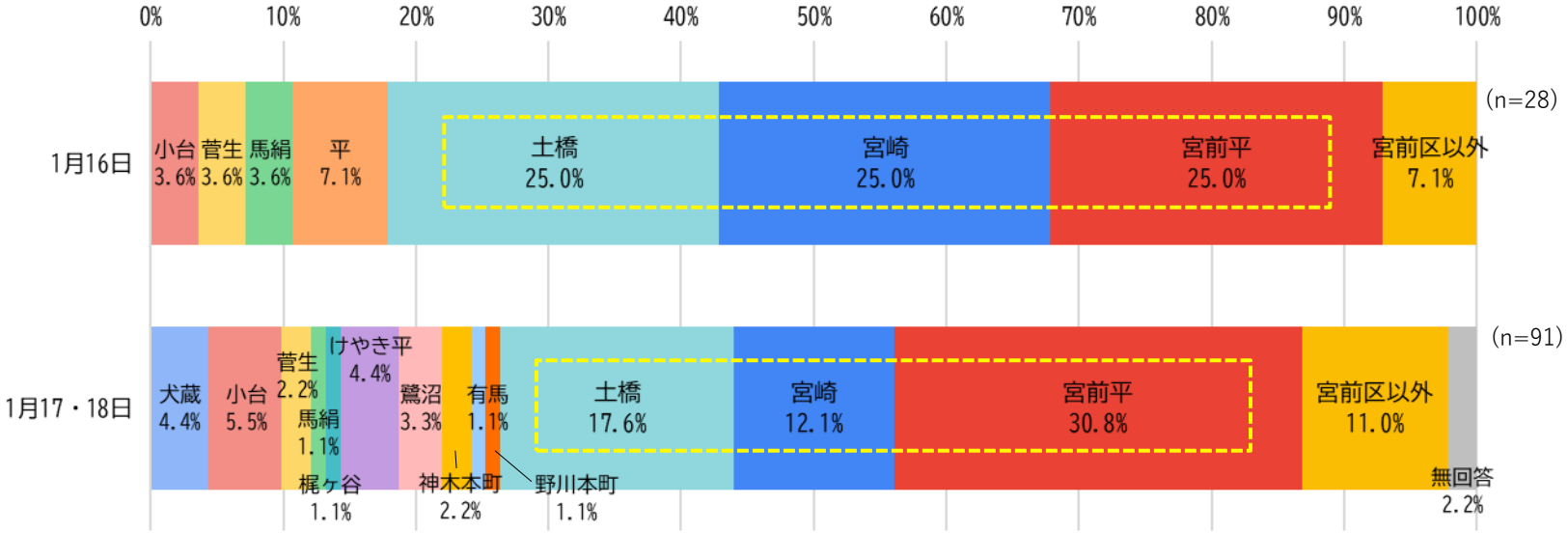
(n=119)



回答者の居住地

・区役所に比較的近い「宮前平」「土橋」「宮崎」にお住まいの方に多くご参加いただきました。

・「宮前区以外」の方も１割程度の回答がありました。



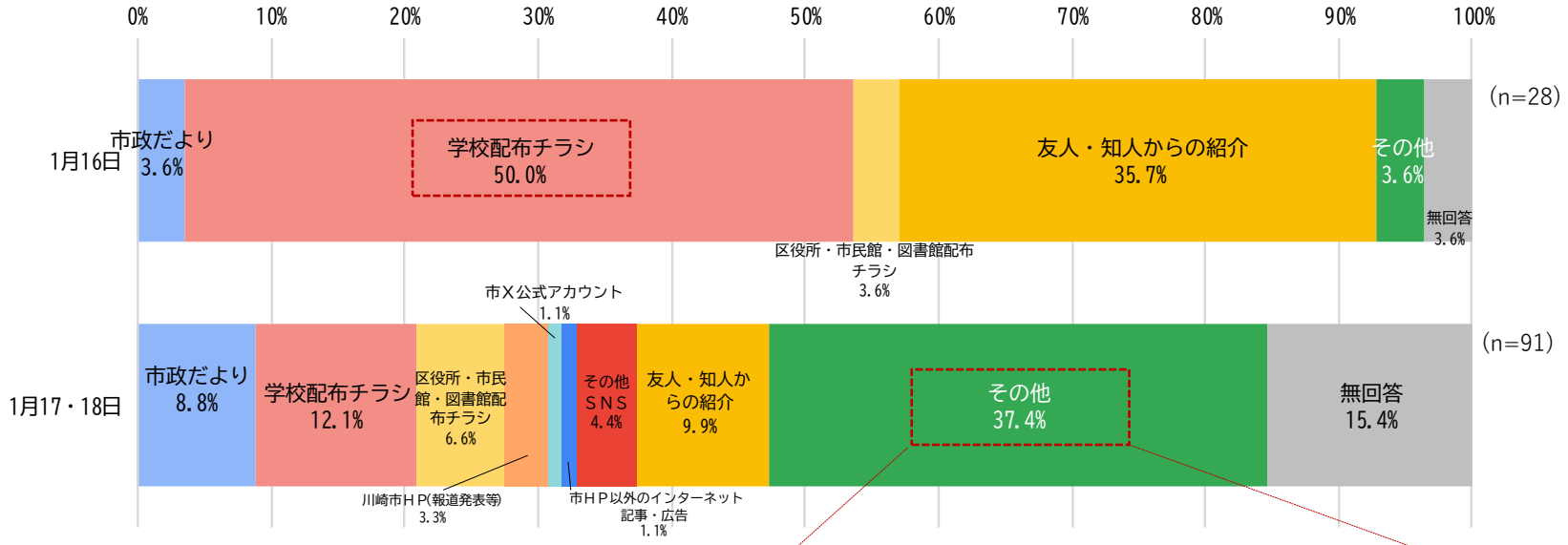
宮前区役所周辺エリア





参加したきっかけ

・1/16は「学校配布チラシ」、1/17・18は「その他」の回答が最も多くありました。
・16日は【本取組に参加する目的を持って参加】した方が多い一方、17・18日は通りすがりでの参加が多かったことから、【目的を持たずに参加した】方が多いと考えられます。



その他の回答（1月17・18日）

【図書館、市民館等の用事のついで】　17件
【通りがかり】　15件
【近隣在住で気になって来た】　2件

参加有無　及び　満足度　（５：高い～１：低い）

●参加率は**「パルクール体験」が最も多く、 約３割の方が参加**した一方で、**「ストリートサッカー体験」は約１割の参加**となりました。

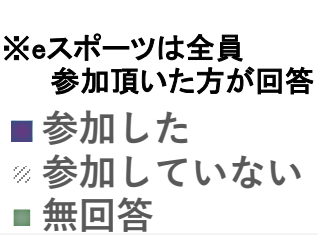
●ストリートサッカーは専門性が高く、敷居が高かったことから、参加率に影響したものと考えられます。

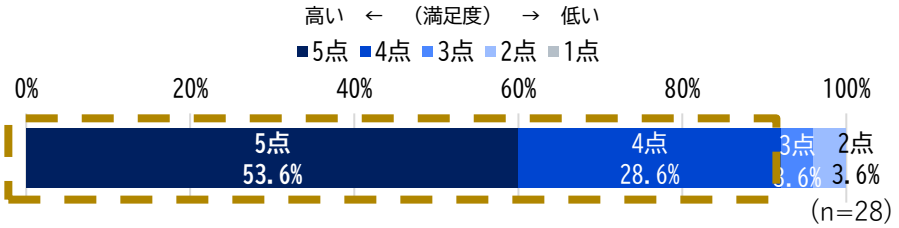
●満足度は、**いずれのコンテンツも７割は満足（４点、５点）と回答**するなど高く、参加人数等も踏まえると、区役所等施設・用地を広場、運動・スポーツで活用する可能性はあると考えられます。

●今回のコンテンツは、いずれもファミリー層が気軽に立ち寄れる内容として確認することができました。

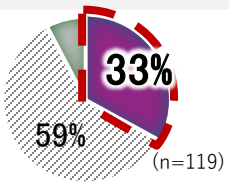


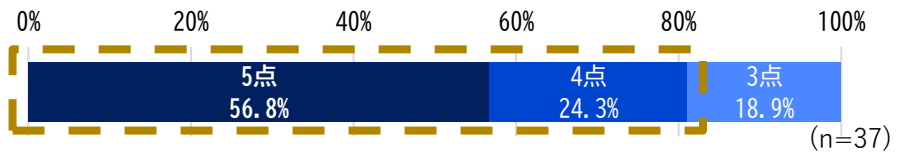
※eスポーツは全員参加頂いた方が回答



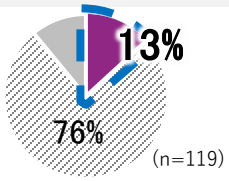


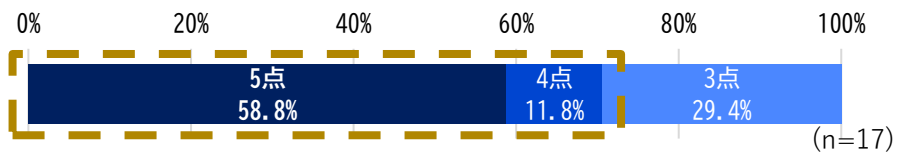




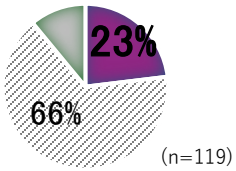


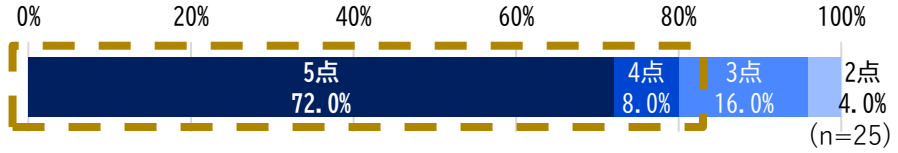












将来希望する活用コンセプト

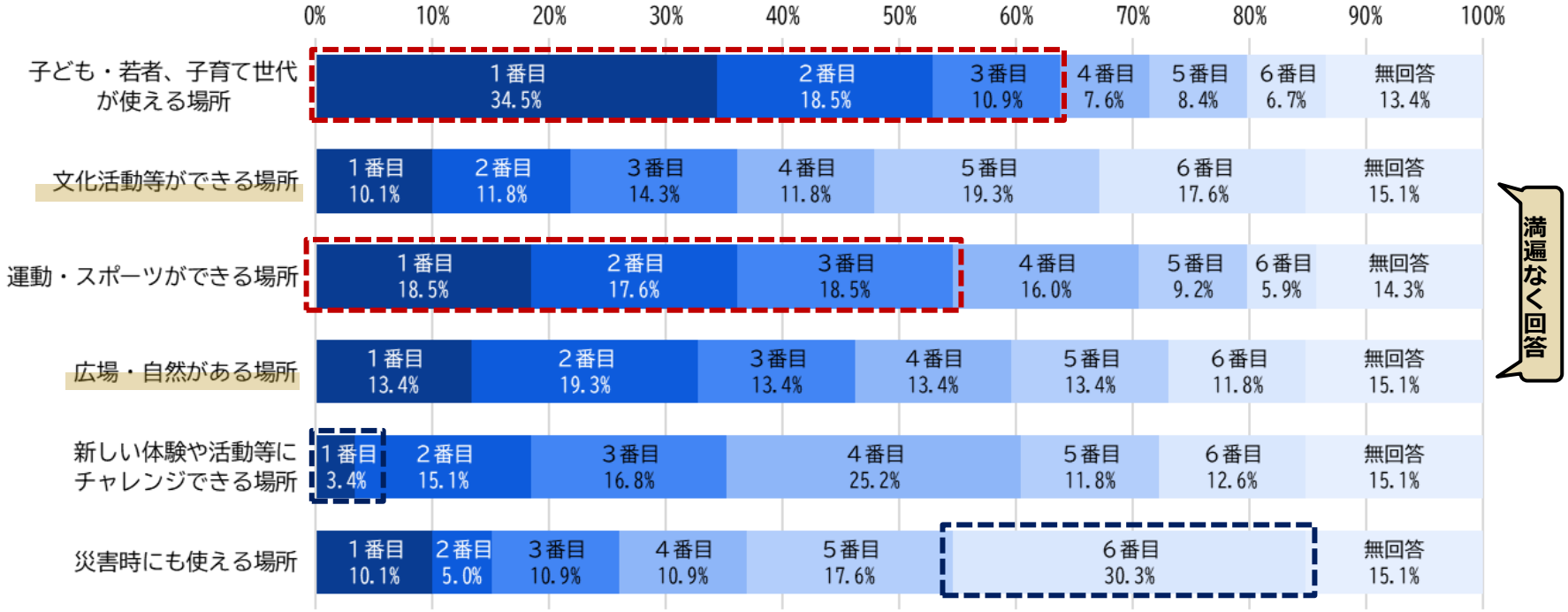
●希望するコンセプトとして**１～３番目に挙げた割合を見ると、「子ども・若者、子育て世代が使える場所」、「運動・スポーツができる場所」が多い**状況です。

●一方、**６番目に挙げた割合を見ると、「災害時にも使える場所」が多く、 １番目に挙げた割合を見ると、「新しい体験や活動等にチャレンジできる場所」が最も低い**状況です。

●これらから、今回の主な参加者（３０代・４０代）は、**日常使いができる場所が上位**で、**非日常の場所が下位**になっていると考えられます。

●**「文化活動等が出来る場所」「広場・自然がある場所」は満遍なく回答**されていることから、ニーズとしての際立った傾向はないと考えられます。

（n=119）



宮前チャレンジLab 2026 ミライトーク（令和８年２月開催）

実施したプログラム

1. 現施設・用地に関する経緯・取組について
2. 宮前チャレンジLab 2026に関する報告

①なぜ「宮前チャレンジLab 2026」を企画したのか？
② 当日の様子、アンケート結果等の報告

皆さんとの意見交換

・当日の様子などを見た感想　　などなど…

3. 現施設・用地のミライに関する紹介

① マインクラフトによる「この場所のミライ」 投稿内容の紹介
② 「この場所のミライ」シール投票の結果報告
③ 実際に見てみたい「この場所のミライ」
④私たちが考える「この場所のミライ」（明治大学建築学科有志による学生団体MUAC）

皆さんとの意見交換

・「この場所のミライ」の感想
・皆さんが考える「この場所のミライ」
・来年以降であったら良い／自分たちでやってみたい取組　　などなど…

参加者数　１８名（うち子ども２名）









当日挙がった主なご意見

宮前チャレンジLab 2026の感想

（知ったきっかけ）

・市政だより、宮前BASEで見た

・図書館でチラシを見て、後から知った

（当日の様子）

・「パルクール」が気になった。現地の階段などを使ったパフォーマンスも見てみたい。

（マインクラフトを使った「この場所のミライ」投票）

・本展示を目当てに、当日参加した

・交流を促すアイデアが多くあり、興味深かった

「この場所のミライ」の感想

（①のアイデアについて）

・滑り台が豪華で良いと感じた。子どもの遊び場ができると良い。

・自分は高校生だが、友人とこの滑り台で遊びたいと感じた。公園に遊具が減ってきている中で遊ぶ場所があるのは良い。

・図書室や駐車場もあると良い。

（全体について）

・いくつかの案にあった、バスケットコートやテニスコートなどスポーツができる施設があると嬉しい。

本施設・用地の利活用に関するアイデア

（具体的な利活用方法へのアイデア）

・周辺に飲食が少ないので、カフェやレストラン等ができると嬉しい

・市が自慢できるスポーツジム、健康増進施設があると良い。例えばシミュレーションゴルフ、ピラティスなど。生田緑地にある「川崎国際ゴルフ」との連携なども考えられる。

（公共交通機能の維持）

・区役所周辺エリアは宮前平駅からの距離、急勾配によりバスを中心とした公共交通の整備が必須だが、区役所等の移転により公共交通機能が脆弱にならないか懸念している。

（日常的に利便性の高い施設の必要性）

・広場と駐車場、屋内・屋外など各機能がバラバラに提供されており、連続的に使えていない。非日常的な活用も良いが、日常的にどう使うことができるか、考えてほしい。

（既存建物の扱い）

・今ある建物の活用、または解体した上での新築による整備、両方のメリット・デメリットを整理した上で、総合的に考えてから進めるべきではないか。

（周辺の土地利用との調和）

・向かいのショッピングセンター跡地が今後どうなるか懸念している。本施設・用地だけでなく、周辺施設との調和や一体的な整備の可能性も含めて検討を進めるべきである。

・周辺との連携、位置づけが重要である。子供、みどり、防災などの様々なキーワードや、これまでの経緯を踏まえて進めてほしい。

宮前チャレンジLab 2026 -Part2-（令和８年８月開催）

■宮前チャレンジLab 2026 -Part2- チラシ





■参加者数

参加者数
（アンケート回収数から算定した数値）

マインクラフト教室	86名（2日間）
屋内型子どもの遊び場	426名
J-POP盆踊り 屋外飲食スペース	245名

合計：757名



■当日の様子

マインクラフト教室



屋内型子どもの遊び場



J-POP盆踊り



屋外飲食スペース(屋台)



■ 参加者向けアンケート調査結果

参加者向けアンケート調査概要

■調査方法　来場者による、直接記入または入力により実施
■回収数（n）　250件（コンテンツごとの内訳は以下の通り）

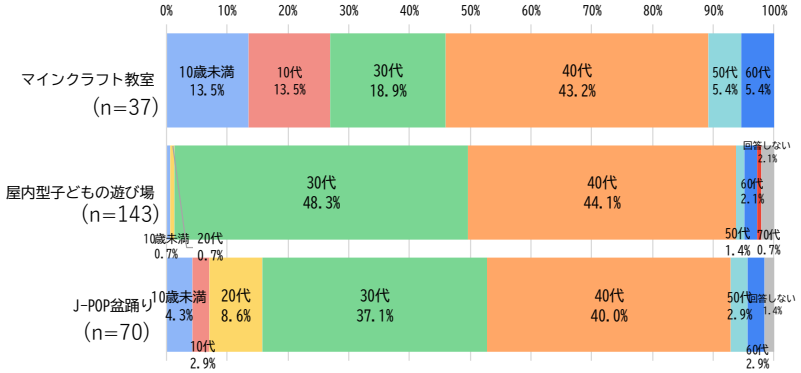
マインクラフト教室	37件
屋内型子どもの遊び場	143件
J-POP盆踊り・屋外飲食スペース	70件

※回答者にはお菓子詰め合わせをプレゼント



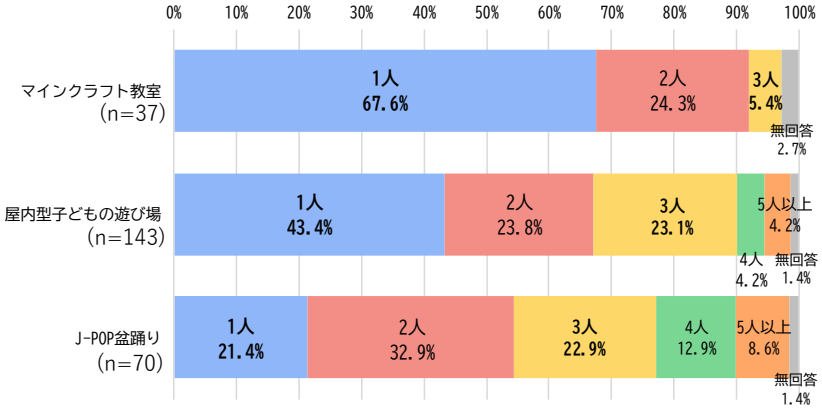
回答者の年代

30～40代より多くの回答がありました。
「J-POP盆踊り」では20代の回答もありました。



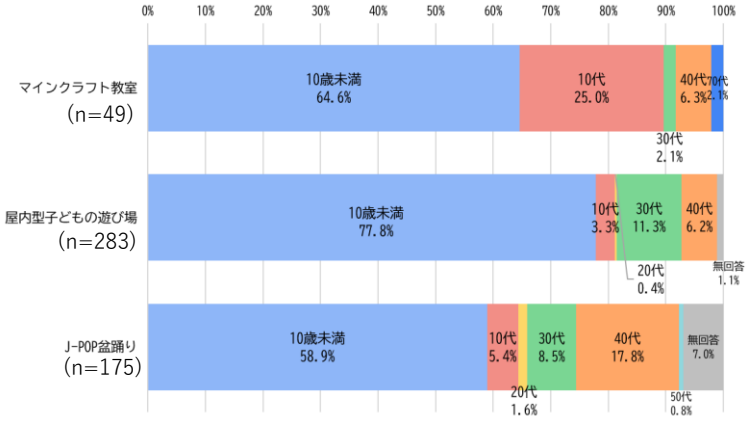
同行者の人数

広い会場ほど、多くの同行者を伴う傾向が示されました。



同行者の年齢

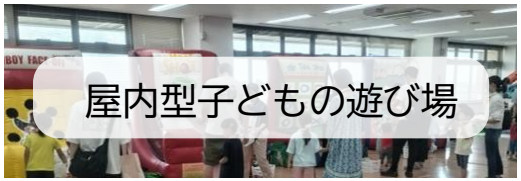
小さなお子さんと一緒にいらした方に
多くご参加いただきました。



満足度（５：高い～１：低い）

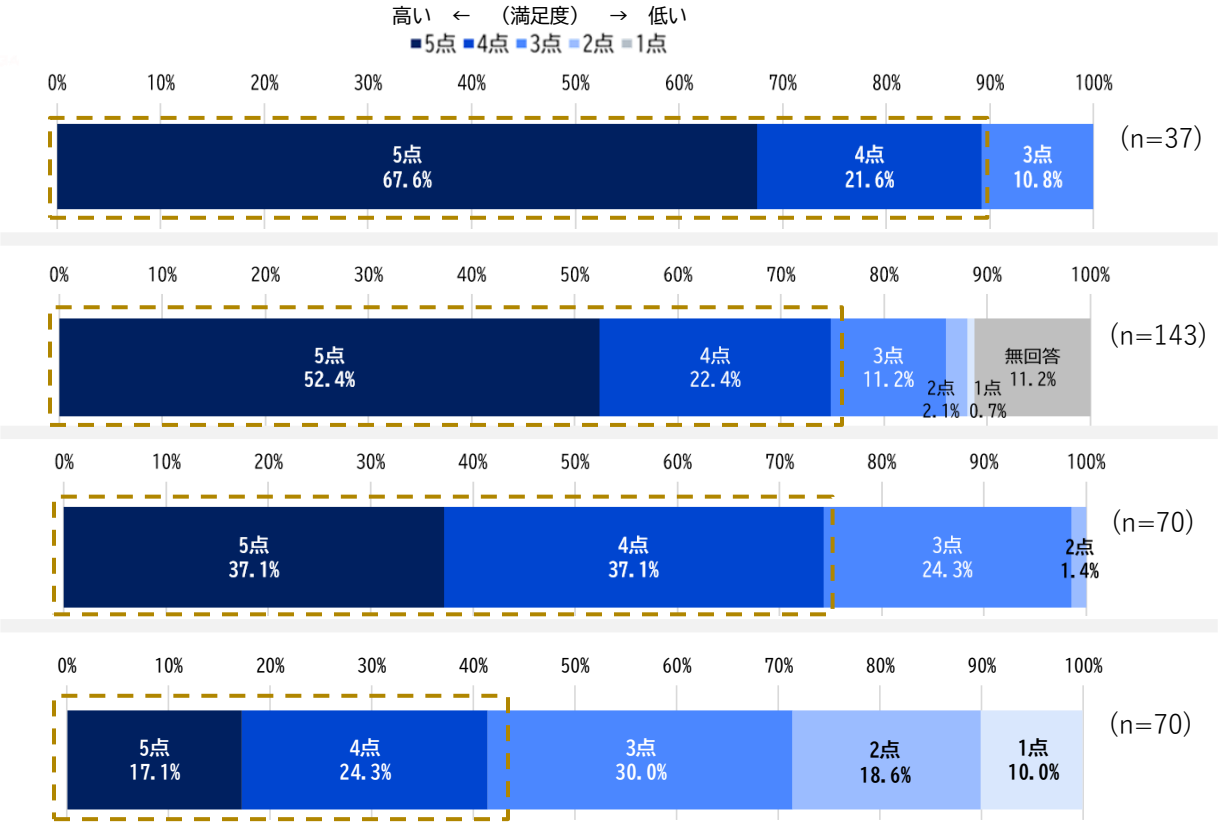
- 「マインクラフト教室」は4.57点、「屋内型子どもの遊び場」は4.39点と高い満足度が示され、いずれも７割以上の方から「満足（４点・５点）」との回答をいただきました。
- **猛暑の中でも快適に過ごせる屋内型のコンテンツに対して、高い評価やニーズが示された**ものと考えられます。
- 一方、「屋外飲食スペース」は3.20点と他のコンテンツと比較して満足度が低く、より多くの出店を希望するご意見が複数寄せられたことから、充実した飲食機能へのニーズが示されました。
- 今回の取組を通じて、子どもや子育て世代が屋内で安心して過ごせる場所としての活用可能性が確認できました。





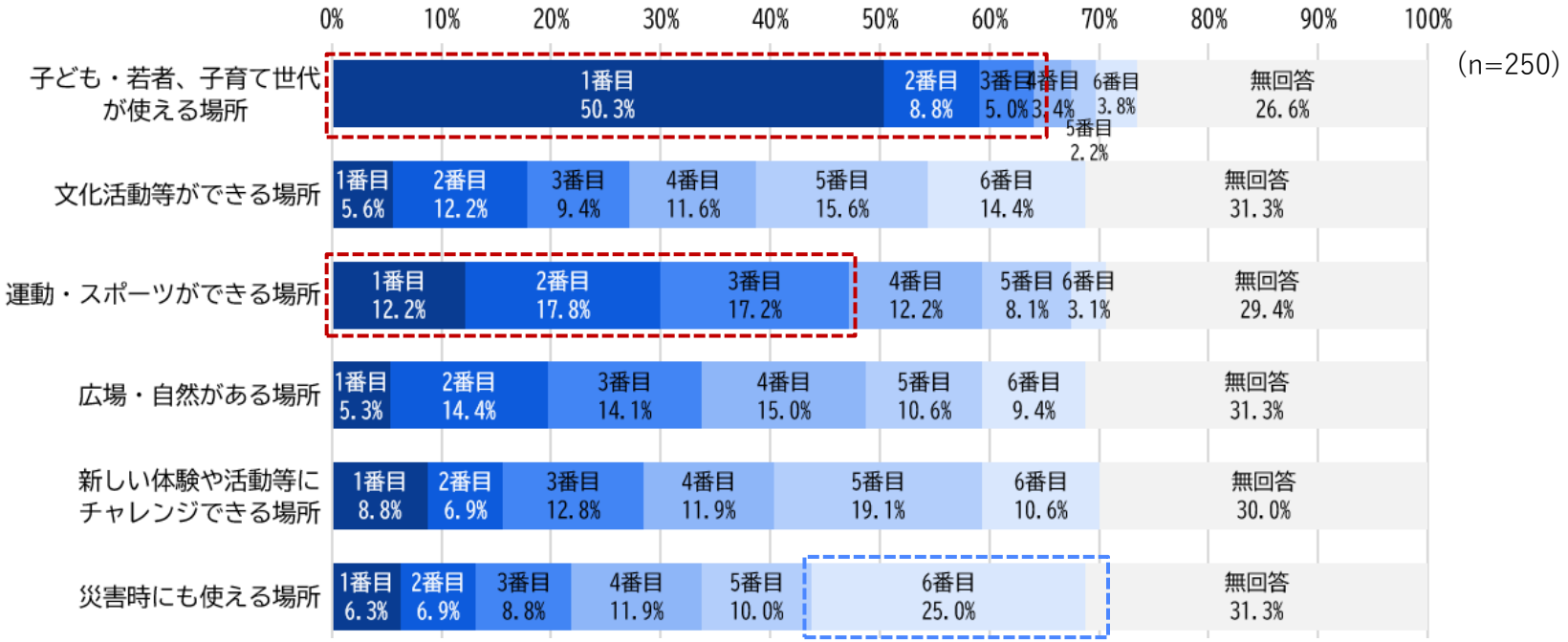






将来希望する活用コンセプト

- 希望する活用コンセプトとして、**最も重視するものをお聞きしたところ、「子ども・若者、子育て世代が使える場所」が約半数を占め、多くの皆さまから支持**されました。
- 希望する活用コンセプトとして**１～３番目に挙げられた割合を見ると、「運動・スポーツができる場所」へのニーズも高く**、昨年度と同様の傾向が見られました。
- 一方で、**優先順位が比較的低い項目としては、「災害時にも使える場所」を挙げる回答が多く見られました。**
- 今回の主な参加者である小学校低学年のお子さまがいる子育て世帯では、昨年度と同様に、**日常的に利用できる場所への期待が高い傾向**が見られました。
- **「文化活動等ができる場所」や「広場・自然がある場所」については、特定の順位に集中せず幅広く回答**されており、昨年度と同様に一定のニーズがあることがうかがえました。



主な自由意見

●本取組に関することから、この場所の今後の事まで、幅広いご意見・ご感想を頂きました。
（以下は頂いたものを抜粋）

【チャレラボに関するご意見】

（マインクラフト教室）

- 自分の住む街をマイクラを通して見て、未来に目を向けて想像をふくらませるすてきな企画だと思う
- ゲームで楽しくこの街の未来を考えることが出来た
- 「区役所の跡地の利用」という身近で具体的な課題に取り組むのが楽しかったようだ

（屋内型子どもの遊び場）

- 暑くて外で遊べないので、屋内で遊べる施設はとてもありがたい
- 涼しい部屋で安全に遊ばせることができた。また参加したい
- 市役所でのイベントというのが良い。開かれた場所であると子どもに感じてもらえる
- 夏休み期間中は有料でもよいので、継続して実施してほしい、500円くらいだと毎日でも来やすい

（J-POP盆踊り・屋外飲食スペース）

- 子どもが楽しめる企画はありがたい。出店がもう少しあるとうれしい
- 夏休みの子どもが参加できるイベントは嬉しい

等

【施設・用地の活用に関する意見】

- ここが子どもたちが遊べる常設の場所になったらいいのにと思う
- 支援センターは駅から遠く利用しづらいため、役所跡に室内遊び場があると本当に助かる
- 室内体育館のようにスポーツができる場所、カフェ付きのコミュニティスペースが欲しい
- 市民が集えるような場所、ショッピングや飲食店などが欲しい。行政の機能もあるとうれしい
- 大型の公園があると喜ぶ子達が多いと思う
- 真夏でも過ごせる水遊び場、又はプールも良いと思う
- 屋内遊びと飲食ができる場所が必要
- 図書館は分館として残してほしい
- 予約した本の受け取りや返却ができる機能は残してほしい
- 商業施設が足りていないので、検討をお願いしたい

等